

第1回 対象と支援の理解 を深める

Key Word:
ペリネイタル・ロス
子どもの人となり

ペリネイタル・ロスを経験したグリーフを抱えるご家族への支援に対して「どのように関わったらよいか」悩んでいませんか。講師は、聖路加国際大学「天使の保護者ルカの会」を立ち上げ、日本ペリネイタル・ロス研究会代表である太田尚子先生です。

子育ての伴走者として、さらなる役割の拡大が求められているなか、子どもをひとりの人として捉えるまなざしについて考えてみませんか。講師は、津市の母子保健、健康づくり活動等にご尽力され、地域になくてはならない診療所として住民から厚く信頼されている梅本正和先生です。

第2回 女性の健康を 支援する

Key Word:
アーユルヴェーダ
冷え

前回ご好評いただき、第2弾!インド伝統医学のアーユルヴェーダの視点から、女性・妊婦の健康観やセルフケアの知識を学びます。あなた自身のセルフケアやリフレクションにも!講師は、津市でこころ・からだ・環境によりトータルヘルスの実現を目指し、地域の公衆衛生医としてご活躍されている落合広子先生です。

多くの女性が抱える‘冷え’。冷え症を訴える女性に、皆さんはどのように対応されているでしょうか。講師は、「妊婦の冷え症」を研究課題とし、冷え症改善に導くための看護ケアの質向上に普及に取り組み、海外へも「Hiesho」として発信している中村幸代先生です。

第3回 チームのケア力を あげる

Key Word:
対話型リーダーシップ
ファシリテート力

新人と上司との間に立ち、チームの橋渡し役として日々奮闘するなかで、心身の疲れや葛藤を感じることや、チームのなかでどのようにリーダーシップを発揮したらよいか悩んでいませんか。講師は、看護師として40年、看護部長17年務められた後、人と人をつなぐ人材育成や相談業務に幅広くご活躍の岡山ミサ子先生です。

中堅層や指導者になると、ファシリテートの機会が増えますね。「どうすればチームの学びや対話を促進することができるだろう」と悩んでいませんか。現場で活用できるスキルを身につけるチャンスです。講師は、効果的な関わりを担えるファシリテーターの育成のためのプログラム開発や、シミュレーション教育を通じた指導者の育成にご尽力されている内藤知佐子先生です。

ぜひこの機会に、助産実践力を磨きましょう!みなさまのご参加をお待ちしています。

○お知らせ等は、本学よりメールで送信いたします。

メールに受信制限をかけている方は、本学からの返信メールを受信できない場合がありますので、本学ドメイン「mcn.ac.jp」を指定受信設定してください。

○応募締切日を2週間以上過ぎても連絡がない場合は、お問い合わせください。

○お預かりした個人情報は本研修のみに使用し、研修終了後は一定の期間をもって適切に破棄します。

○本研修の様子を、写真等で本学のホームページ等に掲載する予定です。

○会場内での写真撮影・録画・録音を禁止いたします。ご了承ください。

<オンライン受講の方へ> ⚠️ 必ずご確認ください

1. 高速インターネット回線につながったパソコン・タブレットをご用意ください。
2. マイク・カメラ内蔵型のパソコン・タブレットまたはそれに接続可能なマイク・カメラをご用意ください。双方向のオンライン講義等で使用します。



三重県立看護大学 地域交流センター 担当:川瀬
TEL:059-233-5610(平日9時~17時) E-mail:rc@mcn.ac.jp

